

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は

著作権の関係で

掲載出来ません。

受験番号

--

受験番号
------

問1 文中の（A）（B）（C）に入る言葉として適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- ア ところが    イ すると    ウ ついに    エ たとえば    オ さて

A
B
C

問2 線①「これは、すごいことではないでしょうか」とあるが、「すごいこと」の内容を、文中の言葉を用いて五十字以内で書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

問3 文中の②にあてはまる言葉である「失敗」の反対語を、漢字二字で書きなさい。

-----
-------

問4 線③「最初から百点満点を目指すのは無理なので、八十点くらいから始めよう」と考えた秋元さんは、パンの缶詰をどのような方法で完成させていったか。「いく方法」に続くように、文中から三十文字以内でぬき出しなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

問5 線④「どこに出してもはずかしくない自慢の商品」とあるが、できあがった商品のどのようなところが「自慢」なのか。「くところ」に続くように、文中から四十字以内でぬき出し、最初と最後の五字を書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

問6 線⑤「作戦を立て直しました」とあるが、秋元さんが新たに立てた作戦としてあてはまらないものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア パンの缶詰を多くの人に知ってもらう日を、世の中の人の関心が集まる九月一日の防災の日にしたこと。  
イ パンの缶詰は阪神・淡路大震災の被災者の声から生まれたものだと言ったこと。  
ウ パンの缶詰五百缶を、開発の時一番手助けしてくれた地元の方たちにプレゼントしたこと。  
エ パンの缶詰はお年寄りや小さな子どもや歯の悪い人などのための新しい備蓄食であると話したこと。

-----
-------

問7 線⑥「あつというまにテレビ局や新聞社が取材に来てくれた」とあるが、秋元さんはメディアが取材に来た理由をどのように考えていたか。解答らんには合うように、文中の言葉を用いて三十五文字以内で書きなさい。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

と判断したから。

問8 本文の内容として正しいものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 発明王のエジソンにあこがれていた秋元さんは、何度失敗をくりかえしてもパンの缶詰の開発をあきらめなかった。  
イ パンの缶詰が誕生したあとも何度も改良を重ねることで、賞味期限をさらにのばし、おいしい配合にたどりついた。  
ウ パンの缶詰を那須高原や高速道路のサービスエリアといった人が多く集まる場所に置くことで売り上げを伸ばした。  
エ 秋元さんは若いころから新聞社の仕事の手伝いをしており、知り合いがいたため簡単にパンの缶詰の宣伝ができた。

-----
-------

問9 次の新聞記事を読んで、各問いに答えなさい。

岡山県浅口市にある金光学園中学校で体育会が行われ、生徒は秋晴れの空の下、全力で競技に臨んだ。その中でも特に注目されたのが、一年生から三年生の同じクラスで一つの団となり、それぞれで設けたテーマにあわせた創作ダンスをおどる応援合戦。短い練習期間だったが、どの団もすぐ工夫されたダンスと色あざやかな衣装で、観客からは大きな拍手が送られた。

問1 線①「秋晴れ」、線③「創作ダンス」、線④「練習期間」は複合語だが、それぞれの言葉の組み合わせとして適当なものの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 和語＋和語    イ 和語＋漢語    ウ 漢語＋漢語  
エ 漢語＋外来語    オ 和語＋外来語    カ 外来語＋外来語

問2 線②「臨」、線⑦「装」の漢字の太線部の画数を、数字で答えなさい。

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦

## 臨 装

問3 線⑤「けど」、線⑥「すぐ」は話し言葉である。書き言葉に直しなさい。

⑤
⑥

受験番号

- ☐ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

なかばら

この部分は、

著作権の関係で

掲載出来ません。

国語（4）

受験番号

問1 文中の（A）（B）（C）に入る言葉として適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

- ア たまたま    イ よくよく    ウ なかなか    エ ふらふら    オ へらへら

A
B
C

問2 この文章は、三つの場面に分けることができる。二つ目と三つ目の場面の最初の五字をそれぞれぬき出しなさい。

二つ目		三つ目	

問3 線①「私は吉沢君を四階に上がる階段まで連れて行った」とあるが、私は何のお願いをするために吉沢君を連れて行ったのか。「〜とお願いするため」に続くように、文中の言葉を用いて二十五字以内で書きなさい。

とお願いするため。

問4 線②「なんだか涙が出てきた」とあるが、この時の私の説明として、最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 練習がうまくいかないことくらいで悩んでしまう自分をいやだと思っている。
- イ 合唱の練習がうまくいかなかったことを思い出してつらくなっている。
- ウ 親しくもない吉沢君に本当に協力してもらえるのかどうか不安になっている。
- エ 大浦君と練習までしたのにうまく言葉が出てこない自分に腹を立てている。

問5 線③「……そうなんだ」とあるが、この時の私の気持ちを説明したものととして、最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 毎朝ふざけてばかりいた吉沢君が調子のいいことを言うのであきれている。
- イ 私をかわいそうだと思っているなら練習に参加して欲しかったと残念に思っている。
- ウ 吉沢君が私に悪いと感じているとは思ってもいなかったので少しとまどっている。
- エ 人気者の吉沢君に同情されていたことがわかってはずかしさを感じている。

問6 線④「わかったから大丈夫だよ」とは、どういうことか。最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア ほめてくれなくても、約束した通りに学級委員の私に協力するつもりなので、安心していいということ。
- イ ほめてくれなくても、私が自分をゆるしてくれたことはわかっているの、慌てなくていいということ。
- ウ ほめてくれなくても、自分一人だけでも歌の練習に参加するので、心配しなくていいということ。
- エ ほめてくれなくても、増田君に代わって男子の学級委員を引き受けるので、悩まなくていいということ。

問7 線⑤「吉沢君は上手だった」、線⑥「吉沢君は確かに上手だった」とあるが、それぞれ何が上手だったのか。解答らんに合うように文中からそれぞれぬき出しなさい。

⑤みんなへの

⑥交流会で歌う  の歌

問8 線⑦「こんな歌」とあるが、私はどのような歌だと思っているか。「〜で仕上げた歌」に続くように、文中から二十二字でぬき出しなさい。

で仕上げた歌。

問9 線⑧「私は本当におばあさんの言葉をありがたと思った」とあるが、その理由を解答らんに合うように、文中の言葉を用いて三十文字以内で書きなさい。

おばあさんの言葉を聞いて

受験番号
------

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

この部分は、  
著作権の関係で  
掲載出来ません。

問1 ①に入る言葉として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。  
ア ぐらぐら    イ ひたひた  
ウ なみなみ    エ ふるふる

問2 ②「横においておけばいい」とあるが、どうすることか。その説明として最も適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。  
ア 自分は考えずに別の人をお願いすること。  
イ いったん考えないように別のことをすること。  
ウ もう一度最初から別の方法で考えること。  
エ 別のことをせずにその問題を考え続けること。

問3 ③に入る言葉を、文中から四字でぬき出しなさい。

問4 ④「自分が夢中になれるものを探す」とあるが、そのためにはまずどうすることが大切だと筆者は考えているか。「〜こと」に続くように、文中の言葉を用いて三十字以内で書きなさい。

問5 ⑤「線「学び」について述べたものとして正しいものを次の中から選んで、記号で答えなさい。  
ア 考えても分からなかった問題を自力で解決したら、自信が付き思わぬ成果が出せる。  
イ 疑問に感じて調べた知識を丸暗記することで、学校の成績も上がってくる。  
ウ 社会の変化に対応できる心構えがあると、どんな目的や目標も達成することができる。  
エ 基礎的な知識を身につけると、自分の身の回りにあるおもしろい「問い」を発見できる。

五 次の①～⑤の——線の漢字をひらがなに直し、⑥～⑩のひらがなを漢字に直しなさい。

--

- ① 木刀でけいこをする      ② おまじないを唱える      ③ 細工をほどこす  
⑥ 質問にかいとうする      ⑦ 小説のけつまつ      ⑧ はくぶつ館  
⑪ 科学的なけんしょう      ⑫ こんざつした駅      ⑬ 本のしゅつぱん  
⑭ ④ 真面目に取り組む      ⑤ 養蚕業をいとなむ  
⑨ せいけつを心がける      ⑩ かもつ列車  
⑭ ④ かけてきな生活      ⑤ せんがいを受ける

⑪	⑥
⑫	⑦
⑬	⑧
⑭	⑨
⑮	⑩